

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	倉敷中央看護専門学校
設置者名	公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

1年生

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
3年課程 (看護専門課程)	看護学科	夜・通信	56	9	
(備考)					

2・3年生

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
3年課程 (看護専門課程)	看護学科	夜・通信	61	9	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

以下のページで公開予定 https://www.kchnet.or.jp/school/about_us/information/
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	倉敷中央看護専門学校
設置者名	公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校関係者評価委員会
役割	<p>本校と関係する学外関係者を校長が委員として選任する。 委員会では、以下の項目についての自己点検・自己評価結果をもとに学校運営・教育活動への理解促進及び改善点等の意見や課題等を共有し更なる改善を図る。</p> <p>I 教育理念・教育目的 II 教育目標 III 教育課程経営 IV 教授・学習・評価過程 V 経営・管理過程 VI 入学 VII 卒業・就業・進学 VIII 地域社会/国際交流 IX 研究</p>

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
社会福祉法人アミカル 特別養護老人ホームアミカル 施設長	2022. 1. 1 ～2022. 12. 31	実習施設代表者
公益財団法人大原記念倉敷 中央医療機構 倉敷中央病院 副院長 看護本部 看護本部長	2021. 11. 29 ～2022. 12. 31	設置主体病院（実習病院）関係職員
(備考) 他外部人材である構成員は5名		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	倉敷中央看護専門学校
設置者名	公益財団法人大原記念倉敷中央医療

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>教育理念・教育目的・教育目標に基づきカリキュラムを編成している。 シラバス作成は毎年1月～3月に行っている。作成にあたっては、教務会議で前年度のカリキュラム運営において修正・改善が必要な内容について検討・見直しを行い、担当講師へ依頼する。その後、学習計画書に基づき各年次の授業計画書(シラバス)を作成し、刊行物として4月始講時に学生に配布している。 シラバスでは科目の到達目標、ねらい、授業内容または授業計画、必携・参考文献および成績評価方法を明示している。また、各授業科目の出欠管理ができる出席自己チェック欄を設け、学生が活用できるようにしている。</p>	
授業計画書の公表方法	①授業計画書(シラバス)刊行物 ②以下のページで公開予定 https://www.kchnet.or.jp/school/about_us/information/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・単位の認定は授業科目を履修し、試験に合格した者に対して所定の単位を与える。 ・各授業科目(講義・臨地実習)の所定の履修時間の3分の2以上出席した者に対して成績判定を行い、当該科目の試験、または学習状況により評価を行う。 ・出席時数が所定に達しない者はその科目について評価を受ける資格を失う。 ・成績評価の評語 優(100～80点)・良(79～70点)・可(69～60点)・不可(59点以下) 可以上を合格とする。 ・病気その他やむを得ない理由により、受験できない者に対しては追試験を行う。 追試験の成績は、原則得点の8割とし、授業科目の成績評価は可以上を合格とする。 ・試験に合格しなかった場合は、原則として各試験につき一回限り再試験を受けることができる。 	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価の評語 優 (100～80点)・良 (79～70点)・可 (69～60点)・不可 (59点以下) 可以上を合格とする。 <p>(客観的な指標の設定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各年次で履修したすべての授業科目について、授業計画書(シラバス)に記載されている成績評価方法により各授業科目の評価を点数化(100点満点)する。 年次ごと、個別的に合計・平均点を算出し、成績評価の指標とする。 	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>以下のページで公開予定 https://www.kchnet.or.jp/school/about_us/information/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定の方針ならびに学則第5章履修方法、単位の認定の規定に基づき、すべての授業科目を履修し、104単位を取得した者について認定会議での承認を経て卒業を認定する。</p> <p>学則 第5章 履修方法、単位の認定及び卒業 (卒業認定)</p> <p>第15条 校長は、所定の授業科目を履修し、すべての授業科目の単位を取得した者に対して卒業を認定し、卒業証書を授与する。</p> <p>2 前項において、欠席日数が出席すべき日数の3分の1を超える者は、原則として卒業を認めることができない。</p> <p>(称号の付与及び国家試験受験資格)</p> <p>第16条 前条第1項により、3年課程看護学科の卒業を認定した者には、専門士(看護専門課程)の称号を授与する。</p> <p>2 前条第1項により、3年課程看護学科の卒業を認定した者は、看護師国家試験受験資格を得ることができる。</p>	
<p>ディプロマ・ポリシー(卒業認定の方針)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・スピリチュアル的に統合された存在として理解する能力を身につけている。 2. 人々の多様な価値観を尊重し、人の痛み・苦しみや喜びを共感的に理解する豊かな人間性を養い、援助的人間関係を築く能力を身につけている。 3. 生命の尊厳・人間の尊厳を守ることを基盤とし、対象の立場に立った倫理に基づく看護を実践する基礎的能力を身につけている。 4. 科学的根拠に基づいた看護を実践する基礎的知識・技術・態度を身につけている。 5. あらゆる健康状態や生活の場に応じて対象のニーズを理解し、対象の望むよりよい生活が営めるように看護を実践する基礎的能力を身につけている。 6. 保健・医療・福祉システムにおける看護の役割と責任を自覚し、多職種と協働する能力を身につけている。 7. 看護の質の向上を目指して自己の経験を省察し、専門職として継続的に自己を成長させる能力を身につけている。 	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>以下のページで公開予定 https://www.kchnet.or.jp/school/about_us/information/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	倉敷中央看護専門学校
設置者名	公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	事業計画、事業報告等の資料を事務所に備え置き、一般の閲覧に供することとさせていただいています。なお、内部規程により、備え置き資料の閲覧場所は広報室とさせていただいています。
収支計算書又は損益計算書	〃
財産目録	
事業報告書	〃
監事による監査報告（書）	〃

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報 1年生

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療		3年課程 (看護専門課程)	看護学科(単位制)	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3年	昼	104 単位時間/単位	81 単位時間 /単位		23 単位時間 /単位			
			104 単位時間/単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人		139人	0人	13人	100人	113人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>(概要)</p> <p>授業科目は講義（演習含む）・実習がある。 講義時間90分をもって授業時間2時間とし、実習時間は60分をもって1時間とする。 3年間総授業時間数：3090時間 1年次：1110時間、2年次：1170時間、3年次：810時間</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>各授業科目の所定の履修時間の3分の2以上出席した者に対して、当該科目の成績判定を行う。 授業科目の評価は、学科試験その他適切な方法により評価し、成績評価は、優（100～80点）・良（79～70点）・可（69～60点）及び不可（59点以下）の評語をもって表示し、可以上を合格とする。</p>

卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>授業科目の履修は学習計画表に基づき履修する。</p> <p>履修した授業科目の単位取得の認定は、各年度の認定会議で承認され、承認された者は次年度へ進級することができる。</p> <p>当該年度において単位修得ができなかった授業科目は、次年度に進み履修することができる。ただし、学習計画表に基づき次年度履修の可否について審議し、履修することが困難と判断した場合は、原級に留まり履修する場合がある。</p> <p>原則として、同一学年の在学は2回までとする。ただし、やむを得ない理由による休学の場合は、同一学年に2回以上の在学を認める場合もある。</p> <p>所定の授業科目を履修し、すべての授業科目の単位を取得した者に対して卒業を認定する。欠席日数が出席すべき日数の3分の1を超える者は、原則として卒業を認めない。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任制 ・専任教員によるゼミナール活動（3学年を縦割りにしたグループでの活動） ・個別面談（定期・随時） ・スクールカウンセリング

①学科等の情報 2・3年生

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療		3年課程 (看護専門課程)	看護学科(単位制)	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3年	昼	104 単位時間/単位	81 単位時間 /単位		23 単位時間 /単位			
			104 単位時間/単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人		139人	0人	13人	100人	113人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>授業科目は講義・演習・実習がある。</p> <p>講義時間 90分をもって授業時間 2時間とし、実習時間は 60分をもって 1時間とする。</p> <p>3年間総授業時間数：3125時間</p> <p>1年次：1115時間、2年次：1210時間、3年次：800時間</p>

<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>各授業科目の所定の履修時間の3分の2以上出席した者に対して、当該科目の成績判定を行う。</p> <p>授業科目の評価は、学科試験その他適切な方法により評価し、成績評価は、優(100~80点)・良(79~70点)・可(69~60点)及び不可(59点以下)の評語をもって表示し、可以上を合格とする。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>授業科目の履修は学習計画表に基づき履修する。</p> <p>履修した授業科目の単位取得の認定は、各年度の認定会議で承認され、承認された者は次年度へ進級することができる。</p> <p>当該年度において単位修得ができなかった授業科目は、次年度に進み履修することができる。ただし、学習計画表に基づき次年度履修の可否について審議し、履修することが困難と判断した場合は、原級に留まり履修する場合がある。</p> <p>原則として、同一学年の在学は2回までとする。ただし、やむを得ない理由による休学の場合は、同一学年に2回以上の在学を認める場合もある。</p> <p>所定の授業科目を履修し、すべての授業科目の単位を取得した者に対して卒業を認定する。欠席日数が出席すべき日数の3分の1を超える者は、原則として卒業を認めない。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任制 ・専任教員によるゼミナール活動(3学年を縦割りにしたグループでの活動) ・個別面談(定期・随時) ・スクールカウンセリング

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
42人 (100%)	0人 (0%)	42人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 病院			
(就職指導内容) 看護協会による職場探しについての出前講座、業者による就職ガイダンス(2回)の開催、教員による就職・進学先検討のための個別面談、小論文対策、自己理解・自己分析を行い履歴書・面接練習につなげる支援等			
(主な学修成果(資格・検定等)) 看護師国家試験受験資格、保健師・助産師養成課程への受験資格、専門士(看護専門課程)の称号授与、大学への編入学資格			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
134 人	1 人	0.7 %
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学習支援、個別面談、保護者との連携による継続した支援		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	150,000 円	300,000 円	150,000 円	施設設備費
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
【公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央看護専門学校奨学金】				
貸与額：20,000/月額				
返還免除：法人内の病院で勤務した期間について返還が免除される。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kehnet.or.jp/school/about_us/information/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) (実施方法) 学校関係者評価委員として非常勤講師、実習病院・施設代表者(関係者)、卒業生を選任し、学校が行った自己点検・自己評価結果(教育活動全般、学校管理・経営、入学・卒業・就職状況等)について共有・評価している。委員会での意見は本校の学校運営・教育活動への理解促進や連携の強化につながるだけでなく、改善に向けての示唆を得るものとなっている。 学校は評価結果および学校関係者評価委員会での意見・改善策等について、具体的な改善策を検討し、次年度の学校運営や教育活動へ反映できるよう努めている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
非常勤講師	2022. 1. 1～2022. 12. 31	非常勤講師
特別養護老人ホーム施設長	2022. 1. 1～2022. 12. 31	実習施設代表者
倉敷中央病院 副院長・看護本部看護本部長	2021. 11. 29～2022. 12. 31	設置主体病院(実習病院)関係者
倉敷中央病院 看護本部教育看護師長	2021. 11. 29～2022. 12. 31	設置主体病院(実習病院)関係者
倉敷中央病院 看護本部病棟看護師長	2022. 1. 1～2022. 12. 31	非常勤講師・設置主体病院(実習病院)関係者
倉敷中央病院 看護師	2022. 1. 1～2022. 12. 31	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kehnet.or.jp/school/about_us/information/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kehnet.or.jp/school/
--